



おまち

Vol.
126

2021. 9. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



沼田市旧土岐家住宅洋館



歴史的資源を活かすまちづくり

- 大正ロマンのまちづくり(沼田市)
- 歴史的資源の保全活用(桐生市)

【連載】 観光まちづくり最前線・地域を歩くレポートNo.26

多古の暮らしぶりに憧れて移り住む人を惹き込むことを目指す観光
～志民協働の先にある選択的新住民の獲得戦略

【投稿】 今年も「歩道空間オープンテラス」社会実験を実施しています！

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 『ぐんま景観・まちづくり展』をYouTube(tsulunos)で配信しています！

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるまちづくりに関係するイベントの紹介・お知らせ

- マーチィの独り言





大正ロマンのまちづくり

沼田市 都市建設部 都市計画課 街なか対策室

■ 背景

中心市街地は、かつて利根沼田地域の商業の中心地として活気づき、市内外から多くの人が集まった場所ですが、近年では人口の減少等もあり年々衰退が進んでいます。

このような状況から沼田市では中心市街地にかつてのにぎわいを取り戻すため、市役所が入る複合施設「テラス沼田」などが並び本町通り上之町周辺(以下、大正ロマンエリア)で、土地区画整理事業にあわせ、沼田市にゆかりのある大正期の歴史的建造物4棟を核とした、いわゆる「大正ロマン」をイメージしたまちづくりを進めています。



大正ロマンエリア街並み

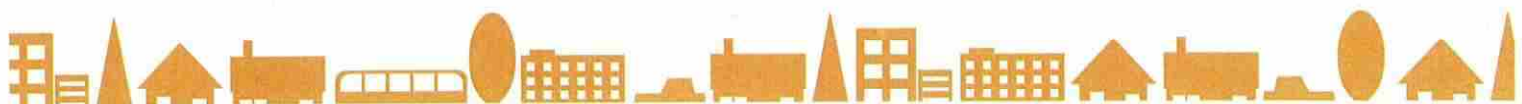


■ 「大正ロマン」のまちづくりとは

読者の皆様は「大正ロマン」という言葉にどのようなイメージを持つでしょうか。

大正という時代は15年という短い間ながらも、政治、社会、文化、ライフスタイルなどあらゆるジャンルにおいて西洋文明が取り入れられ、現代につながるさまざまな変化が生じた時代であり、大正期の建造物はそんな当時の歴史、文化を語る上で貴重です。

「大正ロマン」のまちづくりでは、沼田市にゆかりのある建造物を移築し、大正ロマンエリアに保存、集積することで当時の歴史、文化を後世に伝えるとともに、大正時代独特の和と洋が絶妙に入り交じった魅力あふれる街並みへ整備し、中心市街地一帯の交流人口の増加を目指しています。





■ 歴史的建造物について

以下、歴史的建造物4棟についての概要です。

1) 旧沼田貯蓄銀行(位置図①)

・・・平成28年に移築。群馬県指定重要文化財。同銀行は改称、合併を繰り返し昭和9年まで銀行として利用された、数少ない明治・大正期の擬洋風建造物。

2) 旧土岐家住宅洋館(位置図②)

・・・令和2年に再移築。国の登録有形文化財。最後の沼田藩主である土岐家の家督を継いだ土岐章子爵が大正13年に都内に建築したものを平成2年沼田公園に移築。

3) 旧日本基督教団沼田教会記念会堂(位置図③)

・・・令和2年に移築。国の登録有形文化財。星野健の意志により、沼田市名誉市民で初代津田塾大学長の星野あい氏らによって建築。

4) 旧久米邸洋館(位置図④)

・・・令和3～4年度に移築予定。沼田市名誉市民である久米民之助翁の旧邸宅。昨年10月末を期限に解体が決定していたことから、久米民之助翁にゆかりがあり同じく渋谷区内の旧土岐家住宅洋館を移築した実績のある沼田市に情報提供があり、市内への移築による保存整備が決定。

■ にぎわい創出の取り組み

昨年度、沼田市では大正ロマンエリアの歴史的建造物の利活用と中心市街地のにぎわい創出の一環として沼田市観光協会と連携し、令和女子旅と題し、「大正風の袴体験」やりんご狩りなどを11月21日、22日の2日間実施しました。このイベントでは参加者に大正ロマンエリアや中心市街地のまち歩きをしてもらい、気に入った場所で写真撮影や袴姿での食べ歩きを楽しんでいただきました。当日はテラス沼田でのフリーマーケット等を実施していたこともあり、参加者には満足していただける結果となりました。

この取り組みに引き続き、沼田市観光協会では大正時代を舞台としたアニメ映画「はいからさんが通る」とのコラボレーションを実施中で、キャラクターの等身大パネルや、人気声優らによる音声ガイドを、テラス沼田及び歴史的建造物内に令和4年3月31日まで設置しています。どちらも訪れたアニメファン、声優ファンからは大変ご好評をいただいています。

他にもお土産品として「はいからさんが通る」のアニメキャラクターがデザインされた缶バッジを旧沼田貯蓄銀行で販売しています。



「はいからさんが通る」パネル



「大正風の袴体験」のようす

■ おわりに

沼田市では引き続き地域関係団体と連携し、大正ロマンエリアを舞台にした参加型イベント等を企画して、より一層のにぎわいの創出を図っていきますので、新型コロナウイルス収束後には読者の皆様も「大正ロマン」の雰囲気を味わいに是非お越しください。





歴史的資源の保全活用

桐生市 都市計画課 歴まち・街路係

■ はじめに

桐生市では、平成29年度に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称：歴まち法)」に基づく「桐生市歴史的風致維持向上計画(以下、計画)」を策定し、国から認定を受け、歴史的なまちなみ等の歴史的資源の保全、活用を行っています。

今回は、現在桐生市が進めている事業の一部をご紹介します。

※歴史的風致とは、歴史や伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われている歴史上価値の高い建造物が一体となって形成されている良好な市街地の環境のことです。

桐生市の歴史まちづくり～桐生市歴史的風致維持向上計画～

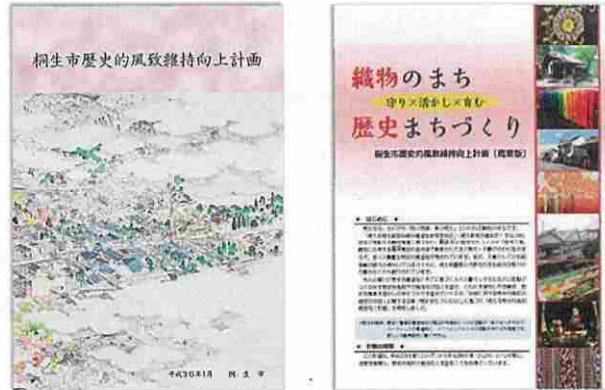


図1 風致計画表紙

■ 歴史まちづくり動画の作成

歴史まちづくりについて、市民の関心を高め親しみを持ってもらうため動画を作成し、現在まで5本の動画を桐生市公式Youtubeチャンネル「桐生市チャンネル」で公開しています。内容は桐生市のマスコットキャラクター「キノピー」と歴史的建造物を巡るものや、桐生市の歴史的風致となっている「桐生祇園祭」と、市内随一の来訪者を誇る「桐生が岡公園」の歴史を紹介するものとなっています。QRコード(図2)をお読み取りいただくと視聴出来ますので、是非ご覧ください。



図2 歴まち動画URL

■ 藤棚広場周辺整備事業

藤棚広場は、アースケア桐生が岡遊園地、未来へはばたけ山田製作所桐生が岡動物園の南側に位置し、明治28年に当時の桐生町長・小島春比古が土地を寄贈したことがきっかけで桐生が岡公園の整備が開始され、その後町民達により段階的に整備が進められた場所です。周辺には石垣や水路等が当時のまま残っているほか、美和神社、西宮神社があり、歴史的な景観を形成しています。

この事業の目的は、広場の周辺や、広場から200m程の場所にある「桐生市新町伝統的建造物群保存地区」との回遊を促し、これらの歴史的資源の保存、活用を行いながら、観光振興、地域振興の活性化を図ることで令和元年度から5年間の整備事業を行っています。

整備にあたっては、事前に地元住民や有識者等によるワークショップを3回開催しました。ワークショップでは、意見交換、現地視察、講演会等を行い、官民共同で整備計画をまとめました。

また、ワークショップの開催結果をまとめた「歴まちワークショップニュースレター」を6回発行し、地元町会へ每户配布し、情報共有を行いました。(図3)

今後も引き続き、歴史的価値や景観に配慮しながら整備を行い、図4のように、多くの人が集まる憩いの場となるよう関係者と一体となり、事業へ取り組んでいきます。



図3 歴まちニュースレター



図4 藤棚広場(イメージ)

■ 終わりに

歴史まちづくりを推進していくためには、地元住民や関係者等の協力や理解を得ることだけでなく、多くの市民が自分の住んでいるまちの歴史に親しみや関心を持ってもらうことが大切であり、これからも多くの方に興味、関心を持ってもらえるよう、歴史まちづくりの推進に努めます。





多古の暮らしぶりに憧れて移り住む人を惹き込むことを目指す観光 ～志民協働の先にある選択的新住民の獲得戦略

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

千葉県多古町って、知っていますか？ 日本の空の玄関口・成田空港の隣に位置しています。多古町の知名度の低さを逆手にとった「たこ？どこ？ここ」の自虐的キャッチで現在売り出し中。多古町のマスコットキャラクター「ふっくらたまこ」も人気急上昇中です。

■ コロナ禍の働き方でにわかにはクロースアップ

新型コロナウイルスの感染拡大で、大学の講義も対面授業とオンラインを併用したハイブリッドの時代に、リモートワークにより働き方も大きく変わってきています。その影響で移住・定住先としても多古町は注目されています。

宝島社の「田舎暮らしの本」2021年版での「住みたい田舎」ベストランキングの“子育て世代が住みたい田舎部門”で町ランキング全国8位(千葉県第1位)に多古町がランクインしました。以前より、地方創生の一環として、待機児童・給食費・高校までの医療費がすべて0(ゼロ)の子育てにやさしい3つの「0(ゼロ)」を掲げ、子育て世代を中心に隠れた人気スポットとなっていました。ターゲットを特定した戦略が見事に効果を発揮しています。



人気急上昇の多古町のイメージキャラクター「ふっくらたまこ」さんです。

■ 豪農家屋をリノベーションした新しい宿泊体験を開業

多古町は「多古米」と「やまと芋」がブランドとなっている農村環境が展開されている地域です。良好な環境と地域住民のもてなしの気持ちがいっぱいの地域です。しかし、空き家も少なくないため、多くの地域と同様に空き家対策が急務となっていました。

江戸時代から150年以上の歴史をもつ地域の豪農の大三川(おおみかわ)邸では、地方創生の予算によりリノベーションされ、「田園風景をながむ、集落の中の一軒宿」として生まれ変わりました。1泊2日で12万1000円(税込)ですが、2～8名まで宿泊可。連泊すれば15万4000円であり、9名以上も要相談とのこと、学生のゼミ合宿等にも使える瀟洒な空間となっています。コロナを克服し、満点の星空を眺めての露天風呂で仲間たちと語り合いたいものです。それが成田空港から20分の好立地のところにあるのです。



大三川邸の外観。内部は、現代的にリノベーションされています。是非ともHPの訪問を!!

ちょうどいい加減、多古町。

- 100%地元産品
- 高校まで医療費0
- 高校まで医療費0
- 3泊まで3000円まで

豊かな自然と多古米などの美味しい農産物の宝庫。暮らしやすい、ほど良い田舎加減が魅力です。

成田空港にも隣接し交通アクセスも良好。生まれつき子育て環境の中でゆったり暮らし、通勤・通学は都心部へ。そんな生活がここには可能です。

東京と多古ってちょうど良い距離感なんです!

多古町 観光・交流アクションプラン

■ 志民協働の取組みをベースにした観光まちづくりの展開が注目

「これからの観光まちづくりは“多様な主体”がキーワードとなる」……これは、大下先生の授業の持ちネタ(持論)です。多古町では10年近く前より「志民協働」という言葉でまちづくりが展開されてきました。市民協働という言葉は、最近是一般化してきましたが「志民協働」は新鮮なワードでした。

志のある町民の方々が身近な観光まちづくりに取組んで10年。“これっ”といった集客施設を道の駅以外に有していない多古町の最大の魅力は、農村環境と人柄・暮らしぶりにあります。モニターツアーに参加した先輩から聞いた興味ある話では「トマト農家の端境期に海外旅行、外車も保有のライフスタイル」。子育て世代だけでなく、こんな暮らしならば魅力的で、若者・学生の心も惹かれます。

そんな魅力を戦略的に展開する取組みが「多古町観光・交流アクションプラン」に体系的に示されています。プランでは単に物見遊山の観光客を呼び込むだけでなく、多古町のライフスタイルに惹かれて選択的に移住・定住する多古町の新住民の獲得のための様々な仕掛けが満載です。これまでにない新しいタイプの観光戦略でもあるのです。これは、アフターコロナの時代の新しい観光まちづくりの幕開けかもしれません。

(飯村将大&まっちい。近藤)

移住・定住のポスター。「たこ？どこ？ここ」のキャッチが、記憶に残ります!!



モニターツアーでフルーツトマトの佐藤農園を訪問。「最も赤いトマトを探せ!!」のゲームをしたそうです。

大三川邸ホームページ <https://oomikawa.jp/>

多古町観光・交流アクションプラン

https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2021040100015/file_contents/purangaiyou.pdf





今年も「歩道空間オープンテラス」社会実験を実施しています！

群馬県官民連携まちづくりPJチーム

皆さん、こんにちは！毎日、暑い日が続きますね。これから残暑が続きますが、体調など気をつけて過ごしましょうね。さて、昨年度から実施している「歩道空間オープンテラス」社会実験について、実際にどうやって進めているかとの問い合わせがありましたので、紹介させていただきます。

■ 実施までの流れ



申し込みから約1週間

申請書提出から約1週間

このように、申し込みから約2週間で、歩道にテーブルやイスが置けるようになります。

④の「申請書類」については、道路使用許可(警察署)と道路占用許可(土木事務所)の申請が必要になります。書類の作成は、官民連携まちづくりPJチームがサポートし、事前に申請内容の調整なども行っていますので、安心して参加していただけます。なお、今年度については、道路占用料が免除となり、別途、道路使用許可手数料が、1申請につき2,300円かかります。

■ 参加者からの声

現在、社会実験に参加していただいている2店舗を紹介します。

おもひで横丁 なつかしや(太田市)

(太田市東本町17-11 TEL: 0276-25-8639)

- ①社会実験に参加したきっかけ
官民連携PJチームの宮下さんからの紹介です。
- ②オープンテラスの評判は？
なかなか利用率はあがりませんが、違う観点から喫煙ができないので、外のテラスでの利用者もいました。あとは、太田市は暑いので利用率は低いです。
- ③地域に対する思いを。
太田駅北口をまちづくりのエリアとして、太田市美術館図書館を拠点に歩けるまちづくりを目指しています。小さいエリアなので、歩いて回れるように小さい子からお年寄りまでが楽しめるエリアを目指しています。



実施前



実施状況

左門 末広町店(桐生市)

(桐生市末広町1-13 TEL: 0277-46-6243)

- ①社会実験に参加したきっかけ
桐生タイムスを見て応募しました。
- ②オープンテラスの評判は？
密にならずに卓が増やせ、お客様に気軽に寄って(酔って?)いただける反面、一店舗だけの状態では反応が薄いです。社会実験である以上、商店街単位で取り組んだ方が効果的だと思います。
- ③地域に対する思いを。
35年前の桐生は憧れであり、誇りでした。シャッターの閉まる店舗が増える中、街の灯りを消してはいけないという思いで始めました。勢いのある若手が続いてくれると頼もしいです。



実施前

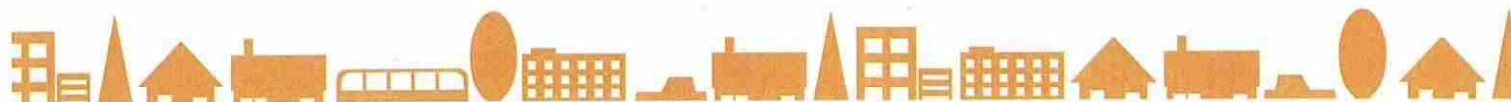


実施状況

出店者の方に話を聞くと、「地域をもっと盛り上げたい!」という気持ちが伝わってきます。今後は、どのように地域に波及させていくか、地域を巻き込んで行くかという点を課題にし、取り組んでいきたいと考えています。

■ 今後の取組

昨年度から実施している「歩道空間オープンテラス」社会実験ですが、参加店舗数は思っていたほど多くはありません。今回、県管理道路を対象に実施していますが、交通量が多い場所や歩道幅が狭いなどの理由から、自店舗前でテーブルやイスが置ける場所が少ないと感じました。すでに市町村道でも同様な取組を実施しているところもあるようなので、幅広く進めていきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願ひします。

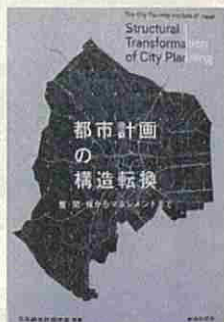




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「都市計画の構造転換 ～整・開・保からマネジメントまで～」



今号のおすすめ
ライブラリーは
こちら!



本書では、旧都市計画法の制定から100年を記念し、都市計画法の歴史を振り返るとともに、都市計画制度の新たな役割を各分野の専門家が論じています。複雑な都市計画制度を理解するためには、都市計画法に記された基本的な考え方と関連法制の体系構造を捉えつつ、時代の変化に応じて改正されたことに伴う構造転換の過程をその背景と共に俯瞰することが重要と記されています。

特に、「第3章 都市の拡大・縮小と土地利用制度」では、土地利用制度の根幹である「線引き制度」について、都市部の密度維持に効果を発揮してきた一方、市街化区域縁部や非線引き都市計画区域では、開発圧力の局所化や分散化による土地利用の混乱を生じさせているとし、より実効性のある土地利用のマネジメントへ向けて、都市計画区域や計画の前提となる都市のまとまりを再編する必要性などが提案されています。
都市計画法に関心のある方、必読です!

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

富岡市 飯野 雅貴



飯野 雅貴さん



講座の様子

令和元年度の「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加してから1年以上が経過しました。講座を振り返ると、テーブル上で活発な議論を交わすだけでなく、屋外実習で土砂降りの雨に打たれたり、時には美味しいご飯を食べたり、まちづくりファシリテーターとして頭と体をフル回転できた講座でした。

また、パートナーネットワーク講座という講座名のとおり、異なる場所、立場で働く皆さまと交流できたことで、色々な考

え方を学ばせていただきました。講座を楽しみながら自らのスキルアップにもつながったと思います。

富岡市においても、令和元年度から地域ニーズに応じて意見や想いを吸い上げ、地域の将来像を共に創っていく体制の構築を目指してファシリテーター養成講座が開催されています。実際に地域の課題を聞いてみると、行政の考える課題と乖離が生じていたり、力を入れる想いが異なったりと、地域の方と共に創っていくことの大切さに改めて気づかされます。

最後に、パートナーネットワーク講座で学んだことを遺憾なく発揮できるように日々の業務に励みたいと思います。

※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板 『ぐんま景観・まちづくり展』をYouTube(tsulunon)で配信しています!

『ぐんま景観・まちづくり展』が、令和3年8月19日から群馬県のYouTubeチャンネル『tsulunon』で配信をしています。

『ぐんま景観・まちづくり展』は、群馬県内の市町村のまちづくり活性化の取組についてのパネルや景観行政団体の取組、市町村が誇る景観の写真の展示をしています。

例年では、『ぐんま"まちづくり"ビジョンシンポジウム』と同時に開催していましたが(昨年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりシンポジウムと共に中止しました)が、今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点だけではなく、より多くの方に観覧していただけることを目的に、展示物のデータをまとめて映像化し、YouTubeチャンネル『tsulunon』にて発信することになりました!

この動画を通して、県内市町村のまちづくりや景観資源に少しでも興味・関心を持っていただければと思いますので、ぜひとも御覧ください。



○『ぐんま景観・まちづくり展』の動画はこちら→





まちづくりイベント情報



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

中之条ピエンナーレ2021

里山の廃校などが期間限定の美術館になります。町外の方は、パスポート(当日1,500円)が必要です。詳細は、公式HPをご覧ください。

■9月11日(土)~10月11日(月)9:30~17:00 無休

新型コロナウイルスの感染状況により変更になる場合があります。

■中之条町内 約40会場

【お問い合わせ先】

中之条ピエンナーレ事務局

(イサマムラ内)

TEL 0279-75-3320



鼻高展望花の丘 コスモス祭り

上毛三山を見渡す鼻高の丘に広がる160アールの花畑にコスモス(早咲き種)やラベンダーセージ、サルビア、そばの花などが次々と開花します。荒れ果てた耕作放棄地が住民の力で生まれ変わった風景をお楽しみください。

■9月11日(土)~10月10日(日)

■鼻高展望花の丘

(高崎市鼻高町1400番地ほか)

【お問い合わせ先】

NPO法人鼻高町をきれいにする会

TEL 090-3246-8088



沼田市 観光ぶどう園 オープン

山間部特有の夜に気温が下がることから着色が良く糖度の高いぶどうが収穫できます。

■8月26日(予定)~10月中旬頃まで

■沼田市内観光ぶどう園

【お問い合わせ先】

沼田市観光案内所

TEL 0278-25-8555



沼田市 観光りんご園 オープン

群馬県内一の生産地。沼田市の糖度の高いりんごをお楽しみください。

■9月初旬(予定)~11月下旬頃まで

■沼田市内観光りんご園

【お問い合わせ先】

沼田市観光案内所

TEL 0278-25-8555



おしらせ

県立赤城公園ビジターセンターにカフェがオープンしました! ~ 官民共創による新たな魅力の創出 ~

県立赤城公園ビジターセンターにおいて、新たな魅力の創出と官民共創のモデルケースとするため、「トライアル・サウンディング」(注)により設置されたカフェが、7月17日(土)にオープンしました!

1. 事業者名 (株)エーアンドバイ企画(代表取締役 林 智浩)
 2. 店舗名 HUTTE HAYASHI CAFE(ヒュッテ ハヤシ カフェ)
 3. 所在地 県立赤城公園ビジターセンター内
 4. 営業時間 11:00~17:00(月火水は定休日)
- なお、トライアル・サウンディングのため、営業日と営業時間は変更になる場合があります。



(注)「トライアル・サウンディング」とは、公共施設・公共空間の暫定利用を希望する民間事業者を募集して、一定期間の使用後に、その活用可能性や課題をフィードバックしてもらい、その後の公募条件に反映させることを目的とした市場調査です。

帝京大学 経済学部 観光経営学科
Faculty of Economics, Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス
オープンキャンパス 2021 日程 9月19日(日)

●完全事前予約制 ●詳細はホームページをご覧ください。

TEL : 0120-508-739 URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp/>

地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

TEL 042-729-8618 Fax 042-729-8619

マーチの独り言



残暑厳しい日が続きますが、涼しい日も増えてきてだんだんと秋めいてきましたね。秋といえば読書、スポーツ、芸術など〇〇の秋といわれますが、みなさんは今年の秋はどのようにお過ごしでしょうか。旅行やイベントに参加することはなかなか難しい時期ではありますが、この機会にできることを新しく始めるのもいいかもしれません。ところで最近引越をしたので、近所をコースを変えながらまちあるきを楽しんでいます。住み慣れたまちにはない風景やまちなみが新鮮で、新たなまちの魅力を発見しています。

まちづくりを考える情報誌「おっ!まちい〜」は様々な地域のまちづくりの魅力を発信しており、これからも「まちい〜ず」の一員として、まちづくりに対して興味や関心を持って、楽しみながら情報発信ができるようにしていきたいです。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL <http://www.pref.gunma.jp/07/h5800127.html>